

平成 14 年度現地調査報告

1. はじめに

研究会において、毎年 1 回実施しております現地調査を 9 月 26 日～28 日の行程で実施しました。今年度は、私たちが対象としている東海・東南海・南海地震津波のエリアの中から紀伊半島沿岸（三重県、和歌山県）を対象に、津波痕跡と津波防災施設の現地見学を行うとともに、行政（自治体の）および地域住民との交流会を実施しました。今年度は 32 名が参加し、充実した現地調査を行うことができました、調査内容の概要を参加者の感想も添えてご報告します。

2. 調査概要

(1) 実施年月日

平成 13 年 9 月 26 日（木）～9 月 28 日（土） 2 泊 3 日

(2) 見学コース

1 日目（9/26）

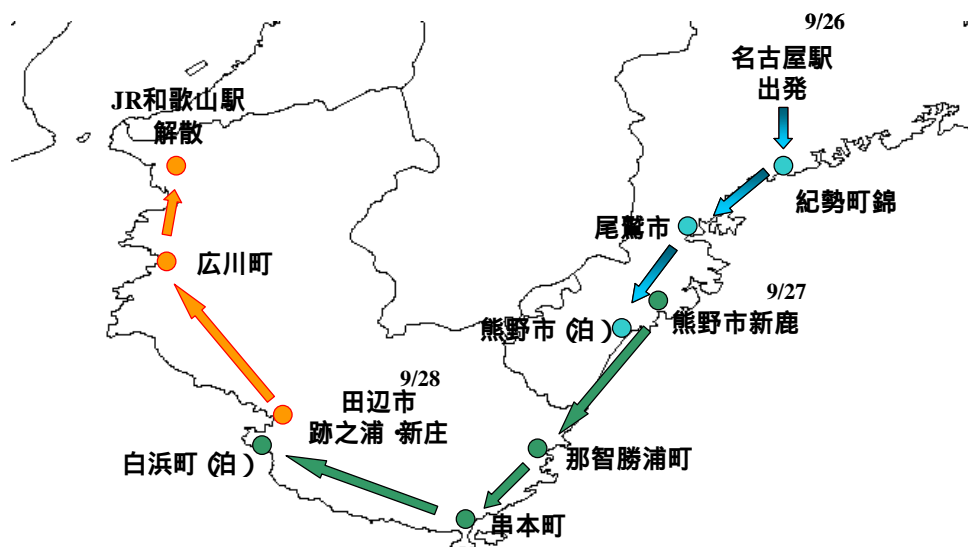
各地から名古屋駅に集合 紀勢町錦地区（錦タワー、避難路、避難所を見学） 尾鷲市役所（交流会） 宿舎（熊野市内）

2 日目（9/27）

宿舎（熊野市内）を出発 熊野市新鹿地区（交流会および津波碑見学） 那智勝浦（津波痕跡の見学） 串本町（避難路の見学） 宿舎（白浜町）

3 日目（9/28）

宿舎（白浜町）を出発 田辺市跡之浦地区（津波モニュメント、津波水位標等の見学） 田辺市新庄地区（津波体験談、津波水位標の見学） 広川町（浜口御陵の功績、津波堤防の見学） JR 和歌山駅にて解散



現地調査の調査ルート図

(3) 参加者

土肥正凶、福岡龍史、榊原弘、中嶋宏行、三島豊秋、岩瀬浩之、町田岳、宮井崇宏、田原康司、上野弘道、奥田朗、河田恵昭、西山研一、鈴木善光、工藤徳人、梅本幸弘、藤井裕之、内田康裕、西岡陽一、森浦光一、島村真二、北條勝也、阿部智宏、山本浩之、谷央洋、山口公生、高田仁、高橋智幸、吉田和郎、澤井力、濱田和彦、根本信（順不同、所属敬称・略） 計 32 名



津波モニュメント（内之浦ひがた親水公園内）前にて撮影



国際津波シンポジウム記念モニュメント（広川町）前にて撮影
背後には安政南海地震津波の後に築造された津波堤防があります。